

<p>【技術の名称】 奥村組接着式耐震補強工法 ー接着接合による補強壁要素を用いる耐震補強工法ー (改定)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第06-24号改 性能証明発効日：2008年9月2日</p> <p>【取得者】 株式会社奥村組</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造の既存建築物の耐震補強に適用する樹脂接着による耐震補強壁工法であり、2007年3月6日にGBRC性能証明 第06-24号を取得している。本工法の特徴は、既存骨組の内側に超高強度繊維補強コンクリートブロック(以下、超高強度ブロックと略記)または鋼板ブレース内蔵プレキャストコンクリート(以下補強PCaと略記)板を設置し、既存躯体との接合を樹脂接着により行うことである。

超高強度ブロックには、基本型の八角形ブロックと台形ブロックおよび三角形ブロックがあり、八角形ブロックには穴開きタイプと開口のないウェブタイプの2種類がある。補強PCa板は、X型鋼板ブレースを内蔵した長方形PCa板であり、各PCa板の鋼板ブレース端部が相互に高力ボルト接合され、既存骨組の内側と接する部分には接着プレートと称する頭付きスタッドを取り付けた鋼板が鋼板ブレースと溶接接合されている。

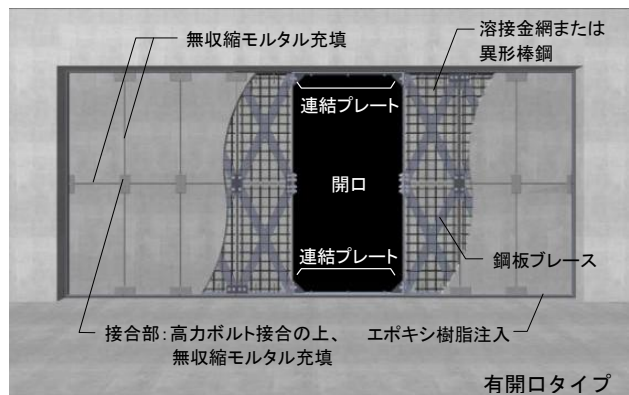
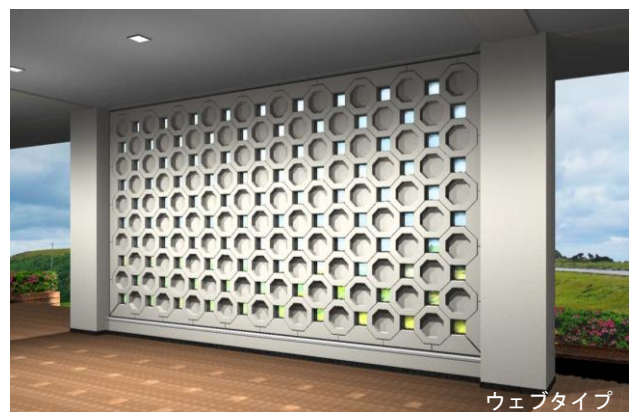
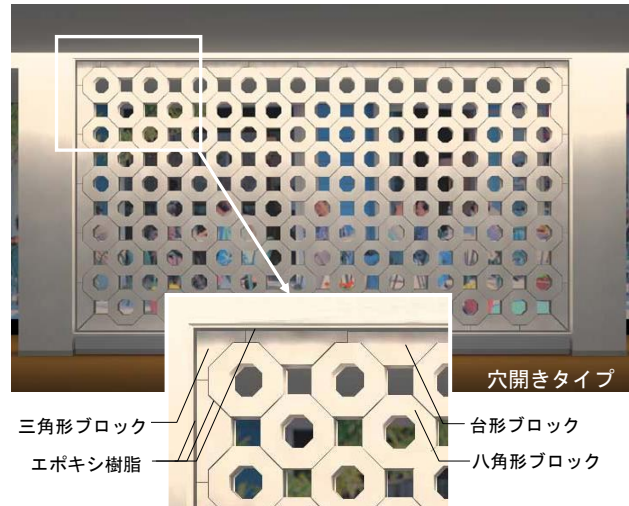
2008年9月2日の改定では、通路開口部上下に連結プレートと称する水平力伝達部材を用いて接合した補強PCa板袖壁を適用範囲に含めている。

【技術開発の趣旨】

従来の耐震補強工事では、多数のあと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動、塵埃などや施工時期の制約など種々の課題が発生する。本工法は、これらの課題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本工法によって構築される補強壁要素と既存骨組からなる耐震補強架構は、申込者提出の設計指針で提示している終局耐力および変形性能(耐震診断において用いる靱性指標F値)を有すると判断される。



鋼板ブレース内蔵プレキャストコンクリート板工法

【本技術の問合せ先】

株式会社奥村組 東日本支社 建築設計部 担当者：平松一夫 E-mail：kazu.hiramatsu@okumuragumi.jp
 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1 TEL：03-5427-8587 FAX：03-5427-8106